

より暮らしやすい地域社会へ 立場を越えて考えるセミナー

地域が「ツナガル」未来をつくる

本セミナーでの「ツナガル」とは、立場や専門の違いを持ち寄り、課題を共有し、次の一手を考えること。地域課題に取り組む団体や個人、弁護士・税理士など専門家も交えて、分野横断の対話から実践につながる展望を描き、共に誰もが安心して学び、働き、暮らせる地域づくりを目指します。

ツナガル 手から始まる未来



3/20 (金・祝日)

13:30～16:00 (開場 13:00)

定員 会場: 50人 オンライン: 50人

会場 近畿ろうきん肥後橋ビル 12階メインホール
大阪市西区江戸堀 1丁目 12-1
大阪メトロ四つ橋線肥後橋駅10番出口すぐ

参加費 無料 (要申込 / 締切 3/16)

※定員になり次第受付終了

対象 地域課題に関心のある団体・個人
(企業・労組、生協、NPO、行政、社協、専門家など)



01 基調講演

「利」と「愛」をつなぐ

地元企業と地域の居場所の新たなパートナーシップ

神戸の居場所を応援する地元企業10社への訪問調査からわかったことを紹介します。「企業の理屈」と「居場所の想い」の両方を大切にしながら、地域と企業がお互いに笑顔で成長できる心地よい関係を作るためのヒントを、現場のリアルな声と共にお届けします。



野津 隆志氏

兵庫県立大学名誉教授

社会学の専門家として、長年、神戸の地域活動の現場に直接足を運び、そこに集う人々の「生の声」を大切に記録し続けてきました。現在は、企業と地域が共に育つための「ごちゃまぜかふえ」を研究中。

02 事例報告 ① ごちゃまぜかふえ居場所・協賛企業より

「寄贈PC×AIでつながる地域支援」

地域ICT推進協議会(COPLI) 株式会社ハック 岩崎 雅也氏
NPO法人サポートステーション灘・つどいの家 藤井 綾氏

企業の寄贈PCを教育機関・団体との連携を通じて地域の居場所へつなぎ、どのように活用できるのか。また、PCの提供だけでなくAI技術を活用して、居場所に最適なアプリを開発しセットで提供するまでのプロセスなどを報告します。

02 事例報告 ② 近畿ろうきん相生支店「推しのNPO」活動より

「推しのNPOがつなぐ地域の力」

地域で作ることの居場所 子ども食堂 かれーやさん 代表 山本 裕子氏
相生支店推進委員会 推進委員長(IHI労組連合会相生支部書記長) 祐延 和広氏
相生支店 支店長 奥谷 高志氏

「推しのNPOプロジェクト」の取組みの概要、「推しのNPO」団体選定に至った背景と団体の取組み、これまでの連携内容について報告します。

03 パネルディスカッション テーマ 「ツナガル」ことで生まれる協働のかたちと未来

事例報告から得られた今後の活動の展望、つながる先への要望などを語ります。

パネリスト: 事例報告メンバー 及び 中山 麻衣子氏(税理士・関西NPO会計税務研究会)

コーディネーター: 飛田 敦子氏(コミュニティ・サポートセンター神戸 代表理事)



QRコードまたはURL (<https://x.gd/KY84B>) からお申込みください

Email・FAXの場合は、下記の項目を記載の上、お申込みください

①お名前 ②所属 ③参加方法(会場/オンライン) ④当日連絡先(オンラインはメール必須)
⑤住所 ⑥どこでこのイベントを知りましたか

Email: ibasho@cskobe.com FAX: 078-841-0312

主催: コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)
TEL: 078-841-0310

共催: 近畿労働金庫

協力: しがNPOセンター、市民活動サークルえんきょうとNPOセンター、大阪ボランティア協会
わかやまNPOセンター、シンフォニー、
大阪弁護士会、関西NPO会計税務研究会(@関西)